

窓口対応

職

員の対応は万全か
不十分である

田辺 四万十町が誕生して4年が経過した。職員の人事交流もあり、町民ともふれあう機会が増えた。総合支所、本庁含めて職員が忙しく仕事をしていることは承知しているが、町民に対する対応は万全でない認識している。特に町民に対するあいさつがあまりにも不十分であり、苦情も多い。

高瀬町長

本庁では朝のあいさつがされていないので、一部職員が率先して玄関口に立って毎朝、職員に対してあいさつ運動をしているが、

全員にまでには思いが通じないし、町民に対しても、生活の基本である「あいさつ」ができていないかと問われれば、まだまだ不十分である。庁議やメール等で周知徹底を図り、職員の意識改革をし、レベル向上に努めていきたい。

田辺 斎場が建設されて23年が経過している。建設当時は、斎場の利用は少なかったもので、当時は十分であったかも知れないが、ほとんどが火葬となった現在、

2組が待機するには十分なスペースがあるとは思わない。執行部としてどう考えているか。

山脇環境課長

約1年間の利用件数は325件あり、そのうち104件が重複している実態で、指摘のとおり、狭い場所ですぐ待機していただいている。大変不自由をかけている。対応するとしたら、早急に

斎場問題

控

室の広さは十分か
不便をかけている

ベンチ式椅子を設置するなど対応したい。

田辺 早急に改修に向けて検討をしてほしい。また斎場への謝礼は必要か。

山脇環境課長

四万十斎場の利用の際、謝礼は全く必要ない。火葬許可をする際に文書を渡し

ているが、見落としている町民もいるので、今後は周知徹底をしていく。なかには謝礼の有無により、火葬の仕方が違うのではとの声もあるが、

そういったことはまったくないので安心してほしい。



四万十町斎場



田辺 哲夫議員